

私たちの活動や意見を仲間で共有します。
会費は県と日本平和委員会の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2023年6月15日 第376号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//tutiuraheiva.web.fc2.com/

平和運動を若い世代にしっかり継承しよう

岸田大軍拡と「戦争国家」づくりの最大の被害者は若者

軍事一辺倒の岸田内閣。「核抑止」にしがみつくなど、広島出身の首相とは思えない姿勢に国民の怒り、失望の声が高まっています。終盤国会においても、国民が望む施策・法律は改悪・先延ばしの連続なのに、軍拡だけほごり押ししようと執念を燃やしています。

政権のウソとごまかしの援軍となっている今のマスコミやネットで流される情報洪水の中、国民各層に不正確で誤った解釈が広がる懸念があります。当然ながら、その被害は次代を担う若い世代にも浸透するでしょう。

全国の平和委員会の青年会員が行ったアンケート調査で、憲法は「変えるべきでない」22%、「変えるべき」21%、と拮抗しています。「わからない」が56%です。9条については、「変えるべきでない」54%、「変えるべき」16%と大きく差をつけました。

一方、防衛費の増額については、「賛成」51%、「反対」42%となったものの、防衛のための増税には「反対」が72%です。



「平和のためにできることをやりたいか」という問いには「積極的に」

「少しくらいなら」を合わせて86%が「やりたい」となりました。心配と希望が複雑に絡み合う結果です。平和の取り組みを若い世代にしっかり継承する仕事は待ったなしの課題です。

(アンケート情報は「平和新聞」2323号より)

怒

「軍事費2倍」国民が負担

軍事費2倍、5～6兆円の増額と言えば、一人当たり5万円の増税分です。大軍拡方針を検討している「有識者会議」が「(財源は)国民全体で負担する」と議論しているように、私たちに大増税や社会保障費削減がのしかかることは必至です。

(日本平和委員会 宣伝資料より)

軍事費を暮らしに回せば…

| 子育て・教育 | 年金 | 医療 |
|------------|---------------|----------------|
| 大学授業料の無償化 | 受給者全員に年12万円増額 | 自己負担(1～3割)をゼロに |
| 小中学校の給食無償化 | 4兆8612億円 | 5兆1837億円 |
| 1.8兆円 | 4386億円 | |



なくそう核兵器

国民平和大行進 土浦行動に参加しよう!

引継ぎ集会・行進(短縮コース)とスタンディングのセットで開催

7月8日(土) 土浦行動プログラム

(12:00 石岡・かすみがうらから宣伝カー引き継ぎ)

①12:00～13:00 亀城公園「引継ぎ集会」
(13:10 行進出発)

②13:10～14:00
行進 2.4km(小松坂下経由、コープ土浦店前着)
(これまでの8.5kmコースを大幅に短縮)

③14:00～14:40
コープ土浦店前でスタンディング
(14:40 解散)

■15:00 宣伝カーを阿見実行委員会に引き継ぐ

5月7日に北海道を出発した2023年原水爆禁止国民平和大行進「北海道-東京コース」は、6月29日に福島から茨城に入り、7月13日まで県内市町村を行進します。7月8日には石岡から土浦に入り、亀城公園での引継ぎ集会、続いて市街地行進とスタンディングのセット開催となります。

昨年に続き、行進は大幅にコース短縮して最後にスタンディングでのアピール行動としました。核使用の脅し、核共有などの危険な動きを阻止するために。みなさんの参加を心から呼びかけます。

(右行程の途中参加もOKです)

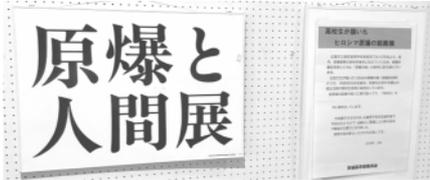
被爆から78年、あらためて“平和”を考える 2023 原爆と人間展

原爆パネルと高校生が描いた原爆の絵画展

8月4日(金)～8日(火) 8/7(月)は休館日
午前10時～午後5時

パネル展 入場無料

県南生涯学習センター（土浦市役所5階）



主催：土浦 原爆と人間展実行委員会
後援：土浦市・土浦市教育委員会

土浦平和の会第30回総会 & 記念講演会

講演 「茨城における平和運動の歴史と展望」

講師：伊達 郷右衛門さん（県平和委員会元代表理事）

6月18日午後、土浦平和の会第30回総会の記念企画として、県平和委員会元代表理事、百里の会会長の伊達郷右衛門さんが講演します。

日時：6月18日(日)13:30～
ワークヒル土浦

第1部 記念講演
第2部 土浦平和の会第30回総会

8・6 ピースデー 特別企画

午前の部 8/6(日)10:30～

記録DVD上映 「封印された原爆報告書」

午後の部 8/6(日)13:30～

企画1.ドキュメンタリー映画上映

「声をあげる高校生たち」

核禁条約が発効した年、日本が条約に参加することを求め高校生たちが立ち上がった。

企画2.土浦市恒例平和企画

土浦市平和使節団報告会

8/6(日)14:30～

土浦市が毎年、広島に市内中学生による平和使節団からの報告。



その他、「詩の朗読」「平和のうた」も企画。

憲法共同センター次回行動は 6/19

6月街頭アピール行動

憲法9条生かした平和外交を！

6月19日(月) 午前10時～
ケースデンキ真鍋店前

思い思いのメッセージ・ブラカードをもって参加ください

G7は西側主要国の首脳意思統一のための会議である。一方にはロシア、中国、北朝鮮などの対立勢力がある。その間にインドやブラジルなどのグローバルサウスと呼ばれる大きな勢力がある。G7に対して日本では「広島の地で核兵器禁止についての前進があるかどうか」という問題に大きな期待があった。一方で「ロシアのウクライナ侵略や核兵器使用に対する抑止」についても期待があった。岸田首相はG7

終了後の会見で「核兵器のない世界へのコミットメントを改めて確認した」と成果を表明し、自民党では大きな成果があったと評価しているという。しかし一方では、被爆者のサーロー節子さんは「自国の核兵器は肯定し、対立する国の核兵器を非難するばかりの発信を被爆地からするのは許されない」と訴え、広島地元紙は「保有国や米国の傘下にいる同盟国の立場を肯定し、忖度するような記述（広島ビジョン）に新しさはない」「被爆

G7は世界平和に貢献したか 被爆地の願いとかけ離れ、核を容認

井上 仁志（土浦平和の会理事）

地の願いとはかけ離れている」と書いています。

ウクライナ問題では支援の具体化について意思統一が図られたとして評価していますが、一方ではG7の支援は対立勢力に対する分断を深刻化するという見解もグローバルサウスの国の中では現れています。軍事力対軍事力ではなく、外交による対話で戦争を終結させる努力に

ついての意思統一が欲しかったところです。

国連グテレス事務局長は「核保有国による核兵器の先制不使用の約束、さらに

言えばどんな状況でも使わないという誓約が絶対に必要だ」と表明しています。どんな状況でも使わない兵器を所有する意味はありません。この約束こそが核兵器禁止条約です。この条約について何の言及もないばかりか「核兵器は防衛に役立つ」と核抑止論の強化を確認する点でG7が世界平和に貢献したと評価することはできないと言わざるを得ません。

【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」（毎月5、15、25日発行）：月額593円(送料含)

